

VB-100・VB-200

トレッキングポールやタープポール、森に落ちている木の枝やクライミングロープなどを支柱代わりに使用して設営する非自立式のシングルウォールテントです。なお、これらの装備はテントセットには付属していませんので、ご自身でご用意する必要があります。

使用人数

VB-100は1人用、VB-200は2人用として設計されています。

前室部は共通で40×205cmのスペースがありますので、テント内で不要な物のスペースとして使用できます。

天候

- ・強風 非自立式テントですので、強風（風速10m/秒以上）の場所での設営には適していません。風が防げる場所を探して設営してください。
- ・豪雨 防水・透湿・高通気性素材の生地を使用していますが、テントは基本的に完全防水ではないことをご理解ください。豪雨が予想される天候時のご使用はお奨めしません。
- ・雪 高通気性素材を使用していますので、理論上積雪があっても窒息の可能性は低く、使用は可能です。ただし、シングルウォールで入口が広いメッシュ仕様となっておりますので防寒性は低いので、十分な防寒体制のもとでご使用ください。

テント設営

1. 水はけのよい平坦な場所で、増水、崖崩れなどの自然災害の起きにくい場所で設営をお奨めします。
2. 非自立式テントですので、バグが使用できる場所か、バグの代用になる岩や木などが使用できる場所で設営してください。
3. 好天時は入口パネルを跳ね上げ、タープとして使用することで、開放感豊かで快適なキャンプを楽しむことができます。
4. オプションで発売している、別売りの難燃シート（OGD101）をご購入いただき、入口パネルを跳ね上げた時にセットしていただければ、タープの下で小さな焚火を楽しむことができます。

テント内での火器使用

まず、テント内での火器使用は非常に危険であることをご理解ください。テント生地は非常に燃えやすく、高温で溶けます。それが肌に触れれば大やけどの危険があります。またテントを密閉した状態で、定員以上で煮炊きすることで酸欠の危険もあります。それらの危険を充分理解した上での行動をお願い致します。

◆テント各部分の説明

テント本体・・・シングルウォールですので全て一体化している幕体になります。

支柱・・・・このテントには付属されておりませんのでご自身でご用意ください。

バグ・・・・8本付属してあります。足りない部分は岩や木などを使用するか必要な分をご購入ください。

張り綱・・・・自在2個付きの4m張り綱を4本付属してあります。本体の支柱の固定と、タープ時のタープ固定にご使用ください。

◆テント使用中に起きた過去の事故例

- *崖の直下に設営、長雨で崖崩れが発生。また、落石や野生動物が落下してくる危険もあります。
- *河原で設営、上流部の集中豪雨で急激に水増し、野営中の人々がテントごと流されました。また、海岸や湖畔（特に人造湖）なども水位の変化により浸水した事例があります。
- *開けた高地設営、落雷が直撃しました。
- *高圧線の直下で設営中、組み立て中の柱（ポール）が高圧線に接触し感電。
- *温泉地のくぼ地に設営、夜間に無風になり、毒ガス中毒が発生しました。
- *テント内で火器を使用、通気量不足により窒息。また、火災の発生事例もあります。

